

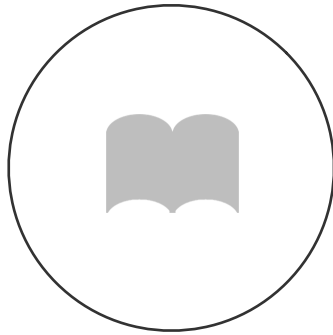
体験版

GB  
GoliathBox

# ガチデブ の俺が2

ショートタイム3 猥想短編小説集

文／絵 友野 勇



パソコンでご覧頂く場合

Adobe Reader（リーダー）のメニューから次の2つの項目をチェックします

- 1 『表示』＞『ページ表示』＞『見開きページ表示』
- 2 『表示』＞『ページ表示』＞『見開きページ表示で表紙を表示』

体験版

# ガチデブの俺が 2

ショートタイム3 猥想短編小説集

友野 勇

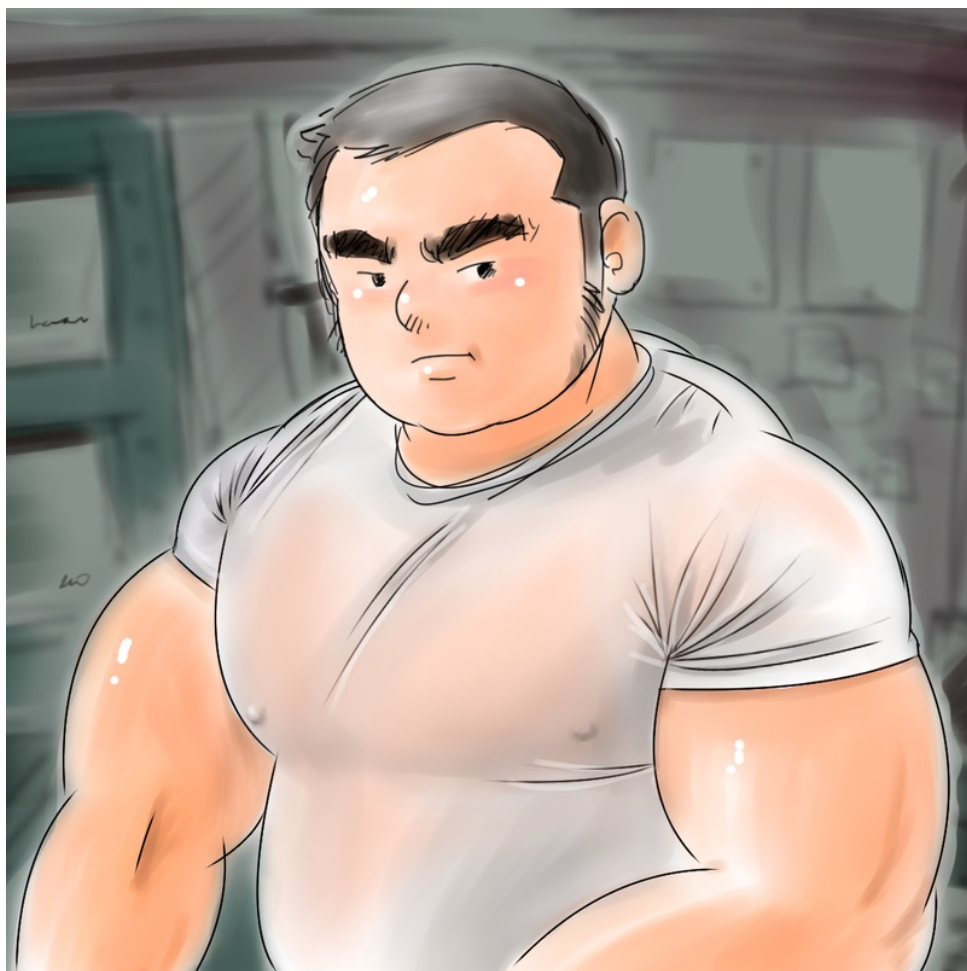
体験版

もくじ

11	終電寝過ごし 恐怖の深夜タクシー	10
12	下町工場ガチムチ技術工員の淫行	36
13	河川敷 変態画家のエチュード	52
14	男専マツサージ 熊系エロエロコース	68
15	童貞喪失？ ラグビー部後輩ムツチりくん	86



16	海パン選びムツチリ変態店員エロ試着	106
17	公開挿入！ド淫乱カフェレストラン	124
18	深夜のコインランドリー 露出交尾中毒	142
19	お試しプレイアダルトショップで穴くらべ	154
20	パーキングエリア変態トラッカー輪姦	170
	ゴリアテボックス作品のご紹介	201



12

下町工場  
ガチムチ技術工員の淫行

## ガチデブの俺が変態工員に遭遇しました

ズンタタズンタタツ……

『はい。もしもし。あつお世話になっておりますう。はい。このあいだはありがとうございます。ございました。無事に通りまして、はい。いえいえ。御社のすばらしいデザインあつての企画ですから。はい。はい。えー、そうなんですか…… ああ…… はい……

なるほど。わかりました。そうですね。私、ちょうど今その現場のあたりにいまして、はい。そうなんです。ちよつと様子を見に行つてきましようか。え、ああ、いやいや。ついでですから。はい。はい。それじゃあ、後ほどこちらからご連絡さしあげますので、はい。よろしくお願いします。はい。はい。いえいえ。はい。それでは、失礼します。はい』

二カ月ほど前、時計メーカーの新商品のコンセプトイメージが企画プレゼン（プレゼンテーション・提案）で決まり、店舗の中央に設置される新作披露のためのディスプレイの

準備が行われているんだけど、そのメインになるへタツノオトシゴをかたどった金属製のオブジェがまだ納品のうひんされてないらしい。もう時間がなくてデザイン会社もさすがに焦あせってる様子。でもまあ、こういうことはよくあること。

たまたまこの近くにそのオブジェを制作している工場があるらしいから行ってみることに。オブジェは20センチほどの大きさでけっこう凝こった作りになるらしく、それに経費もかかっている。まあ、ウチのやることじゃないんだけどこの催しを成功させるためだからフットワーク軽くな。

このオブジェ、制作を受け持っているデザイン会社が発注したものなんだけど、じつは形状が複雑でいつもの加工工場では無理だというんで別の工場に依頼したとか。なんでもそこには金属加工の業界では五本の指に入るほどの技術者がいるらしい。……

このあたり、昔からの大きなトタン屋根の工場が点在する旧い町。主に金属加工やプラスチック加工工場があつてお世辞にもきれいな所とはいえないけど、モノ作りの中心地であり、日本の技術を下支えしている重要な場所だ。

デザイン会社から送られてきたマップではその工場はこのあたり。そして少し歩くと道路から見にくい奥まったところに小さなプレバブの建物が見えた。これかな。

「こんにちは」

ゆつくりとアルミサッシの扉を開けて中へ。応対してくれたのは主任さん。忙し<sup>いそが</sup>そうにしながらもデザイン会社から連絡もらってますと笑顔で迎えてくれた。

「すみません。ずるずると遅<sup>おく</sup>れちゃって。作業的にはもう少しなんですけどね」

「そうですか。予定通りにはイケそうですか？」

「ええ。新しく工程ライン引き直してもらったんで、もう遅らすことは出来ませんから」  
「いいデザインなんでぼくも楽しみにしてるんですよ」

「はい……」

「よければ見せて頂きますか？」

「ええ。そうですね。じゃあこちらに」

主任さん作業の途中だったのかタオルで汗を拭<sup>ぬぐ</sup>いながら少し言いよどんで暗い顔に。

一旦外に出て渡り廊下のようなコンクリートの通路を歩きながら。

「加工を担当してるのが近藤っていうんですけれども」

「はい」

「技術は一級品なんですけど、少しこだわり派って言うんですかねえ。どうも芸術肌でして……  
ウチでは特注専門でやらせてるんですけどね、その、手が止まるとどうにも先に進まなくなることがありまして……」

ははー。その人が金属加工の業界では五本の指に入るほどの技術者…… なんだな。

「へえ、そうなんですか」

「ええ。先方さんには工程の遅れって話してるんですけど、正直、どうしたものかと」

「はあ、なるほど」

「えっと、その扉から作業場になります……」

「あ、じゃあここで結構です。お忙しいでしょうし。少し見せていただいたらそれで結構です」

「そうですか。ひとりで作業してるんで、まあ、ちょっと活かつを入れてやってください。じゃ後ほど」

……とは言われたものの、さてどうしよう。

ここはコンクリートとモルタルでできたシンプルな建物で比較的新しい感じ。軽くノックして中へ。すると十二畳ほどの狭いスペースにたくさんの金属加工機械がびっしりと並んでいるのが見えた。旋盤せんばんや研削盤けんさくばんという昔からあるものや最新式のレーザーによる溶断加工機といったものもそろっている。

それらから少し目を上げると、その奥の隅すみに背中を丸めてうつむいている男の上半身が見える。耳が隠かくれるほどの大きなヘッドフォンをつけて一定のリズムを刻きざんで黙々もくもくと

作業しているようだ。……なんだ、ちゃんとやってるじゃん。つか、すげえ肩の筋肉！ 太つてえ首！ ああ、よれよれのTシャツが汗で身体に貼りついて、すっげえムツチムチでエロいつす。

作業に集中しているようなので静かに近づくと。……！！

下半身丸出し。デカイチ○ポビンビンにしておもしろいきり右手で握<sup>にぎ</sup>りしめて上下運動。左手にはスマホ。画面には男の裸体が……

「へえ？」

「えつ。ええつ!? へえええつ!？」

「はあああ？」

「わああ!!」

「ああつ、す、すいません。と、と、突然お邪魔……」

「あつはあ、あ、いや。えつ」

カッシャーッ!! カラカラッ。

スマホ床に落下。音声ジャックがビューン！ 男優の声が大音量でドーン!!

『おお、すげえ！ たまんねえ！ 入ってるぜ！ 全部ケツマ○コに入ってるぜえー!!』

「ああああ！」



「うっうううっ」

「す、すみま……」

「で、でる」

「えっ！」

「でるでる」

「あっ！ じゃあ口に」

「はあっ!? なあ!!」

「むぐぐぐっ」

「なああー！ でるでるでるー！ あああ、すいませーん！ 口に出しますううう」

「ぐりゅぐりゅごりゅう」

「あっはああー。ごめーん。いっぱい出るう。あっはあー誰ええー。うっ、うっ、うっ」

「ぐむむむっ」

「はあっ、はあっ、はあっ、はあっ」

「ぐびいっ」

「……………」

「一応ノックはしたんですけど……」

「ああ、いえ。俺がヘッドフォン着けてたから。さっき連絡聞いたのに。つい忘れてしまつて」

「すつげえ量出ましたねえ」

「あ、ココ。付いてますよ」

「え？」

「俺の精子」

「あああ。むぎゅむぎゅ」

「全部飲んじやつたんつすか？」

「近藤さんかつこいいから、つい」

「ついって」

「このことはご内密に」

「あ、あたりまえですよ！」

「……………」

「…… な、なんですか？」

「まだ、勃つてる」

「ま、まあ」

「俺、どうっすか？」

「どうって？」

「こんなガチデブ」

「……………」

「どうっすか？」

「ど、ど真ん中」

「キスいいっすか？」

「……………」

す、すっげえ。はああ。エツロおい。

ぴちゅぷちゅ。

「ダメだ、ぜんぜんおさまんねえ」

「そのでかいチ○ポ、ケツに欲しっす」

「ここで？」

「うん。はああ」

「あ、あんた、そうとう変態……　　って脱ぐの速えーよ！」

「こ、近藤さんだってこんなところでマスかいて」

「ちよつと、い、息抜きで……」

「ヌクところ間違つてな…… ああっ！」

「エロい身体。乳首もすげえな。べろべろべーろ！」

「ああ、すげー！」

「あんた、いつもそういうもの持ち歩いてるの？」

「ローションがないと穴傷めるおそれが……」

「こんなの日常なんつすね」

「ああ、近藤さんのでつけえ！ さっきあんだけ出したのに。ああ硬つてえ！ うっ」

「あ、あ、あ、あああ！ し、しまるう」

「はあ、ああ、入っ…… た！」

「全部入った。温ったけえ。あああ、吸いつくう」

「ああ、すつげえ。こ、こんなところでタチマンすつげえ！」

「おらあ、穴締めろお。変態ガチデブたまんねえ！」

「ああ、あつ、あんっ、あんっ」

「ふっ、うんっ、うんっ、ふんっ」

「あんっ、あんっ、あんっ、あんっ」

「ふんっ、ふんっ、ふんっ、ふんっ」……

「おら、左の脚上げて、その台の上に。そうそう。あああ、すっげ」

「あっ、あっはあ。あ、当たるう。すげえ、すげえ」

「おらあ中で回すぞお、おらあおらあ！」

「ああ、があああ！ す、すげえすげえすげえ！ あっはああ！」

「奥の方まで入れて回すぞお！」

「こ、こんなの初めてえー！ あああっ」

「……そこに仰向けあおむになつて」

「はあ、はあ」

「おら、自分で脚かかえて、そう。もうガバガバじゃねえか。一気に突っ込むぞ」

「はあああ」

「うんっ、うんっ、うんっ、うんっ！」

「あっ！ あっ！ あっ！ ぜ、前立腺ぜんりつせんに、あ、当たってるうう！」

「おおお、おおらああ、何か出てんぜ。ああ？」

「はあんっ！ はあんっ！ はあんっ！ はあんっ！」

「ケツ掘られながらチ○ポビンビンにして、じゅるじゅるなんか出てるぜえ！」

「はあんっ！ はあああああんっ！ はあんっ！」

「そんないいか？ 潮吹くほどいいか？ ああ？」

「ああ、やべえ、やべえ。はああ！ き、きもちいい！」

「変態ガチデブ自分で腰振<sup>ふ</sup>って潮ふいてんぞ！ おーエロー」

「はああ、お、俺、いき、いきそ」

「おお、ケツ○ンズボズボやられながら出しちまえ！」

「ああ、あん、あん、あああ、い、いくいくいくいくー」

「あああ、すっげ。両脚かかえたままチ○ポ振り回してザーメンぶちまけやがった！」

「あっはああ」

「ああ、や、やべえ、オレも出そう」

「はあ、はあ、はあ、はあ」

「でそう、でそう」

「あんっ、あんっ、あんっ、そ、そのまま中に……」

「いい、いいのか？」

「あんっ、あんっ、あんっ、あんっ」

「い、い、い、くう」

「はあああ、ああああ！」

「うつ、うつ、くつ、んっ！」

「はっ、い、いっぱい、ああ……」

「はああ」

……

「おつかれさまです」

「ああ、主任さん。先ほどはどうも」

「近藤くん調子はどう？ あれ、なんだか表情が明るくなったな」

「タツノオトシゴの目の部分に入れるクリスタルガラスの位置がしっくりこなくて悩んでたんですけど、なんとか予定通り出来そうです！」

「そうか、そりゃよかった」

「体の模様もようや質感なんか完璧じゃないですか。金属の重厚じゅうこうな輝きがコンセプトにピッタリですよ」

「新商品はダイバースウォッチでしたね」

「はい。仕様は最新式なんですけどフォルムを有名デザイナーにお願いして五十年前のモデルに近づけてもらいました。いわゆるヴィンテージモダンです。それが太古の昔から生き続けながらも個性ある進化を遂げたタツノオトシゴのイメージなんですよ」

「なるほど」

「現場で実際に生で近藤さんのすごいテクニックが体験できて感激しました！」

「よかったなあ、近藤くん」

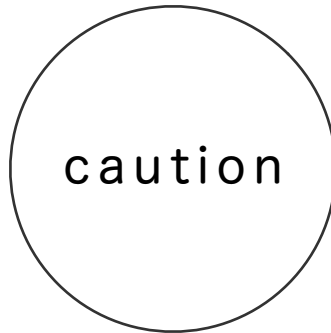
「は、はあ……」

おしまい



下町工場 ガチムチ技術工員の淫行

体験版



この物語はフィクションです。実在の個人、団体、地域とは一切関係ありません。

この作品は空想物語です。公序良俗に反する行為や、性の描写について性感染症のリスクを伴う表現が含まれていますがこれらを推奨するものではありません。

性交渉においては正しい知識と判断で性感染症を予防しましょう。



**GoliathBox**

[goliathbox.blog.fc2.com](http://goliathbox.blog.fc2.com)

 **@Tomono\_novel**

ガチデブの俺が 2  
ショートタイム 3 猥想短編小説集

著 者      と も の 友 野      い さ む 勇

サークル      ゴリアテボックス [ Goliath Box ]

当作品の文章、画像等の無断転載、また複製やネット共有への  
アップロードなどを禁止します。

体験版



體驗版

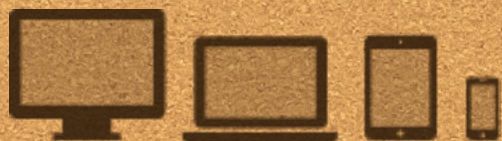


# GB

## GoliathBox

サークル・ゴリアテボックス

### 作品のご紹介



It supports various terminals device.



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 猥想短編小説集

挿絵なし（各タイトル表紙絵のみ）

約 57,800 文字

本編 201 ページ

全項 250 ページ（他作品の紹介含む）



- 01 風呂のぞき ガチデブ作業員  
最近 男が風呂場を覗いてるんです
- 02 秘湯 濡れた穴の真実  
ガチデブの俺が山奥の温泉に行きました
- 03 ジム陵辱 ビジター体験  
元ラグビー部ガチデブの俺が初めてのスポーツジムで常連の洗礼を受けました
- 04 ビデオ屋ガチムチ店員のおすすめ秘蔵映像  
ガチデブの俺が変態店員のいるビデオ屋に行きました
- 05 臨時更衣室 真昼の情事  
ガチデブの俺が変態クライアントの要望でゆるキャラになりました
- 06 銭湯ガン見 柔道部員罰ゲーム  
ガチデブの俺が変態柔道部員のいる銭湯に行きました
- 07 早朝ジョギング 出会い系公衆便所  
ガチデブの俺が変態ガチムチジョギング男と知り合いました
- 08 オフィスにお届け！ ガチムチ宅配サービス  
ガチデブの俺が疑惑の宅配野郎と遭遇しました
- 09 車座セックス 廃品倉庫の快樂倶楽部  
ガチデブの俺が変態倶楽部で輪姦されました
- 10 過激ビデオモデル 双子兄弟2本挿し！  
ガチデブの俺が理想の男たちに掘られました



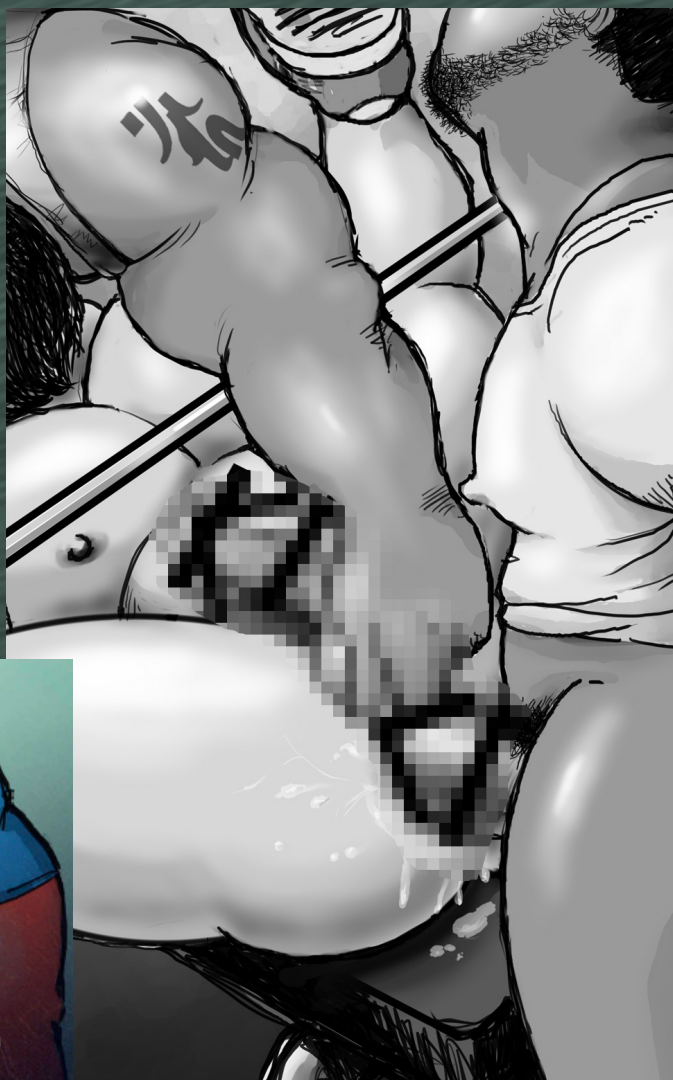
ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 猥想短編小説集

白黒  
エロ挿絵

8

枚



のぞく  
変態不動産  
専門ジム

猥想短編小説集  
文/画 友野勇

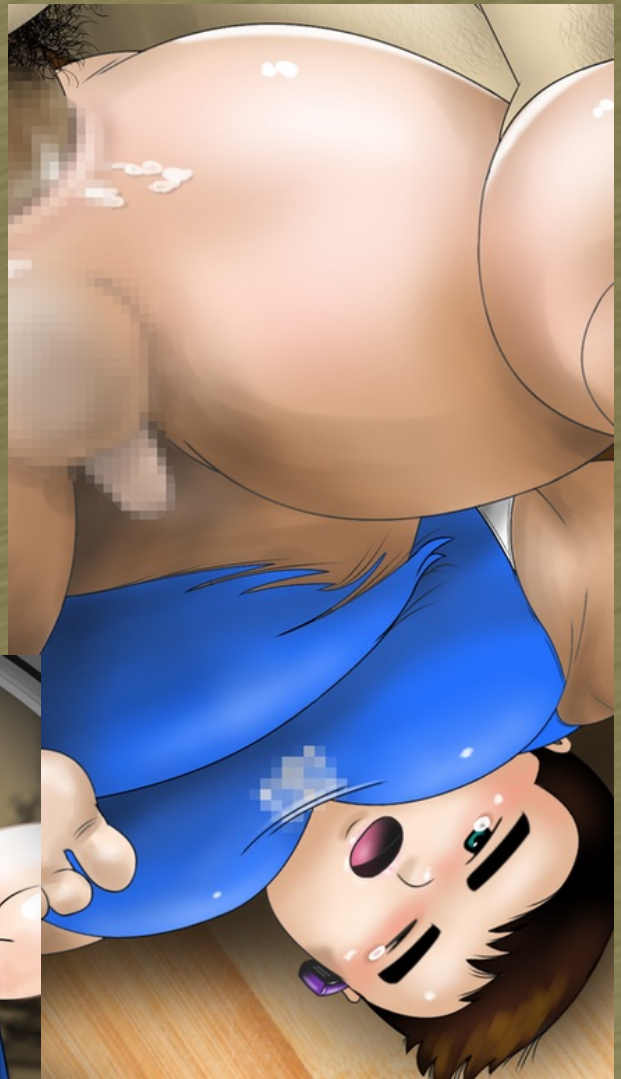
古いアパートのガチムチ男を覗き見する啓介、しかし... (のぞく)  
部屋探しで訪れたへんな不動産屋。格安物件の秘密とは... (変態不動産)  
ネットで見つけた誰も知らないスポーツジム。変態すぎる男たち。(専門ジム)  
短編小説3話です。



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

## 猥想短編小説

カラー  
エロ挿絵 **17** 枚  
(差分 5 枚含)



ハッテン場でスタッフに声をかけられたガチムチ智也くん。  
好奇心旺盛な智也くんが玄関目隠し四つん這い待機に初挑戦！

スタッフはマンションの別の部屋からモニタリング。  
ヘッドセットマイクで智也くんに指示を出しながら隠しカメラで状況を見守る。  
なにかあったらマイクで知らせてね！っとはいいつつもスタッフから次から次へとえっちな指示が！



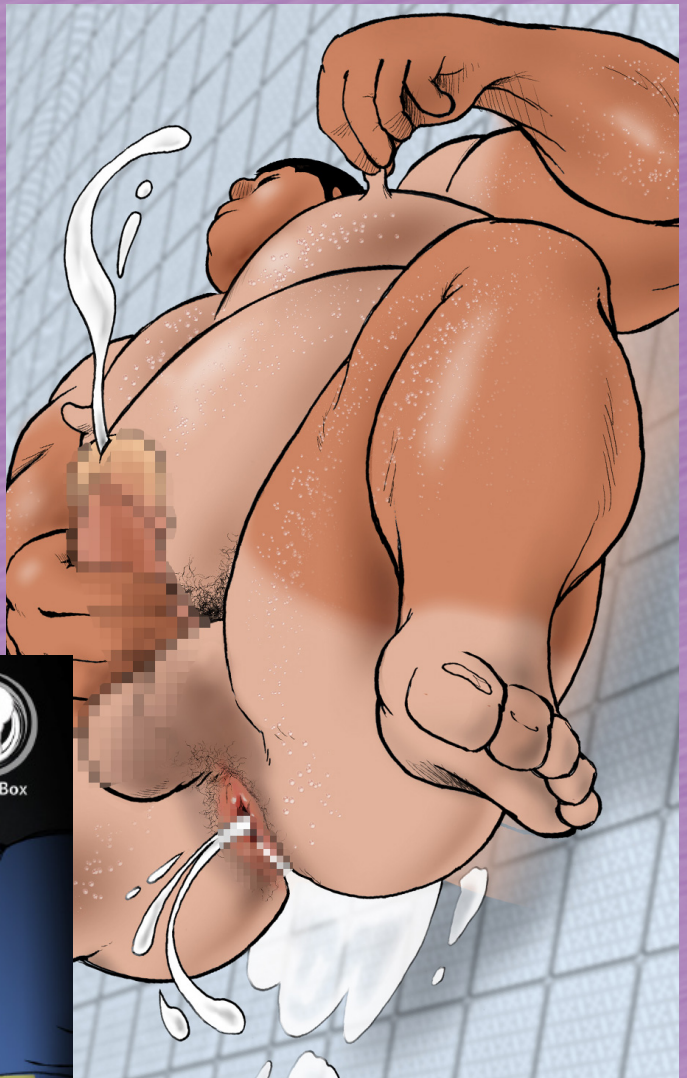
ゴリアテボックス  
友野勇の小説

## 猥想短編小説

カラー  
エロ挿絵

6

枚



耕太郎  
(仮名)

## ハッテン インタビュー

猥想短編小説 文/画 友野 勇

人知れず存在する秘密の社交場。そこへやってくる淫乱野郎に直接交渉。さまざまな話を聞きながらその実態を暴く。突撃ハッテン場インタビュー。真夜中の公園でヒマしてたガチデブの構太郎くん（仮名）この世界での体験を赤裸々にエロエロ告白してもらいました！



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

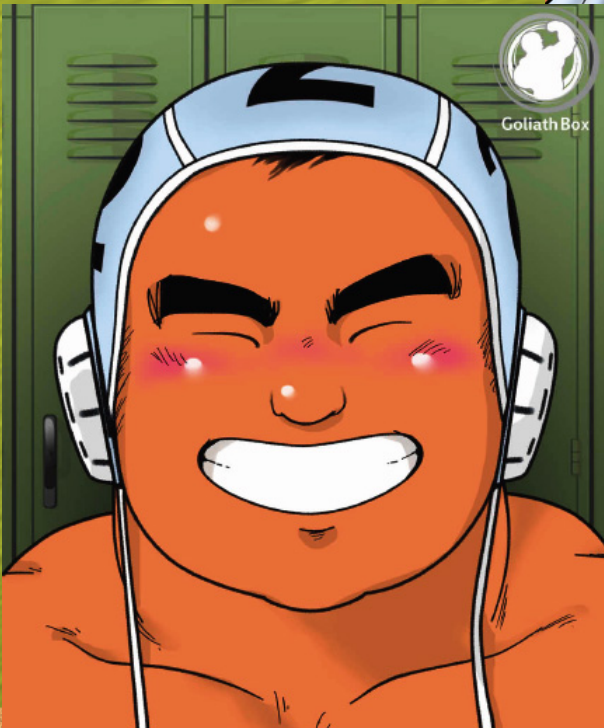
# 猥想短編小説

カラー  
エロ挿絵

11

枚

(差分5枚含む)



## 行列ができる 水球部員

猥想短編小説 文/画 友野 勇

街角の小さなタバコ屋でアルバイトする水球部員のマサル。訪れる客に謎のポイントカードを配布してなにやらスケベなサービスをしているらしいのだが……



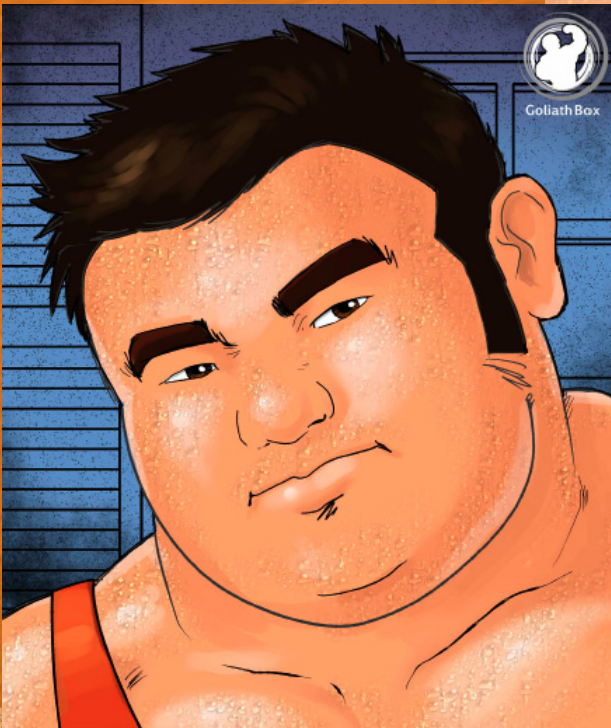
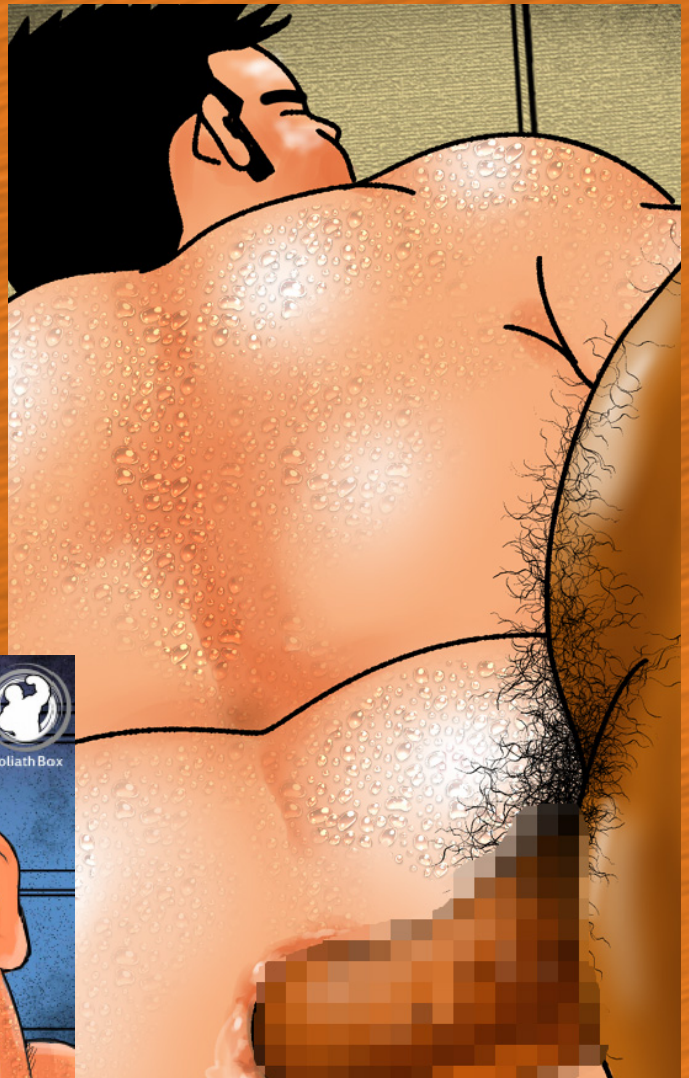
ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 猥想短編小説

カラー  
エロ挿絵

6

枚



## レスリング部員 倉庫でゴックン

猥想短編小説 文 / 画 友野 勇

学園祭間近のレスリング部。

当日のイベント広告のチラシを印刷所に取りに行くよう頼まれたガチデブ橋本。そこで待っていたレスリング部 OB 剛田先輩が.....



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

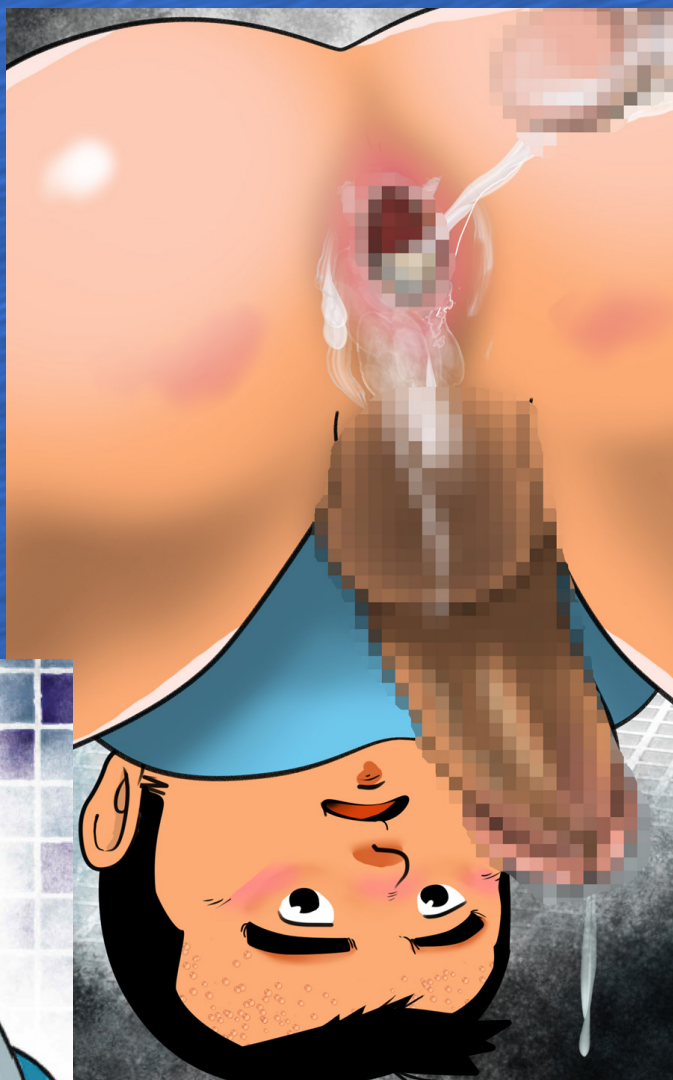
## 猥想短編小説

カラー  
エロ挿絵

7

枚

(差分含む)



## ラグビー部員 銭湯でガバガバ

猥想短編小説 文 / 画 友野 勇

ガチムチラガーマンの翔太は銭湯大好き！今日はいつも通っている馴染みの銭湯で清掃のアルバイト。でも部活帰りにちょっとお小遣い稼ぎにと思っていたら……



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 猥想短編小説

白黒  
エロ挿絵

6

枚



## 柔道部員

公衆便所でベチヨベチヨ

猥想短編小説 文/画 友野 勇

朝の練習中、突然もよおして便所へ  
駆け込むガチムチ柔道部員の田島。  
しかしそこは清掃中！作業している  
おじさんに断られたが我慢出来ずに

.....



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

## 官能中編小説

挿絵なし(状況 見取り図)

約 47,700 文字

PC 用 96 ページ

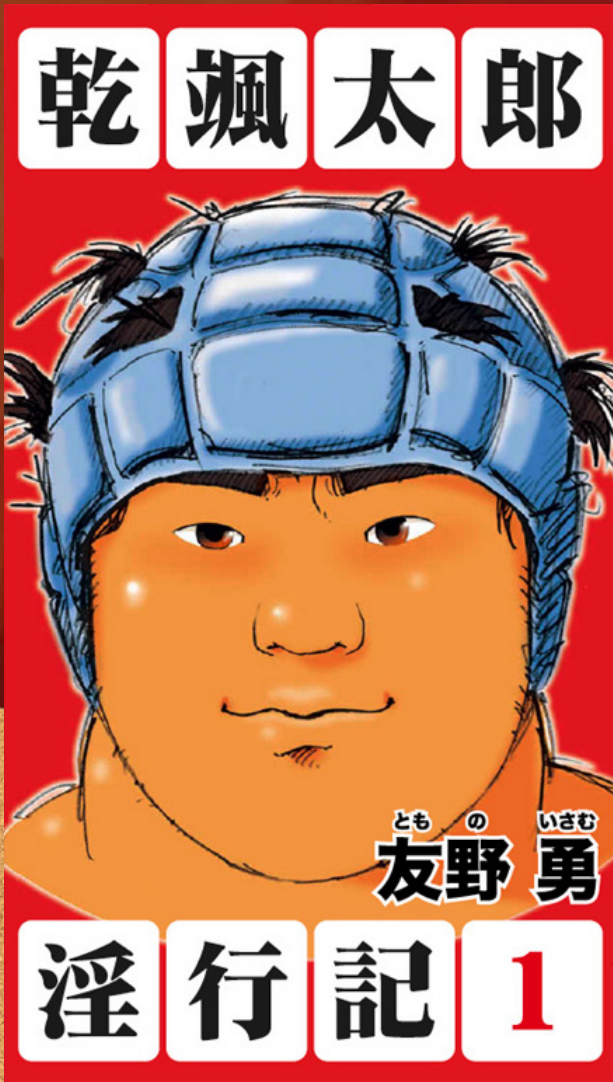
スマホ用 291 ページ

高校の先輩に誘われてラグビーを始めた颯太郎。

大学ではその逞しい身体と希有な運動神経で皆に期待されるが結果が伴わずに苦悩する。

そんな新人の颯太郎に性処理をさせながらも慈愛に似た感情を持ってしまう2年先輩の鴻野。ノーマルで男同士の愛情に戸惑いながらも颯太郎との関係は深く強くなっていく。

しかし一方で颯太郎は羞恥の快楽に目覚めて淫猥な世界に堕ちていくのだった。



読む本  
じっくり



ゴリアテボックス  
友野勇の小説

## 官能中編小説

挿絵なし(状況 見取り図)

約 45,000 文字

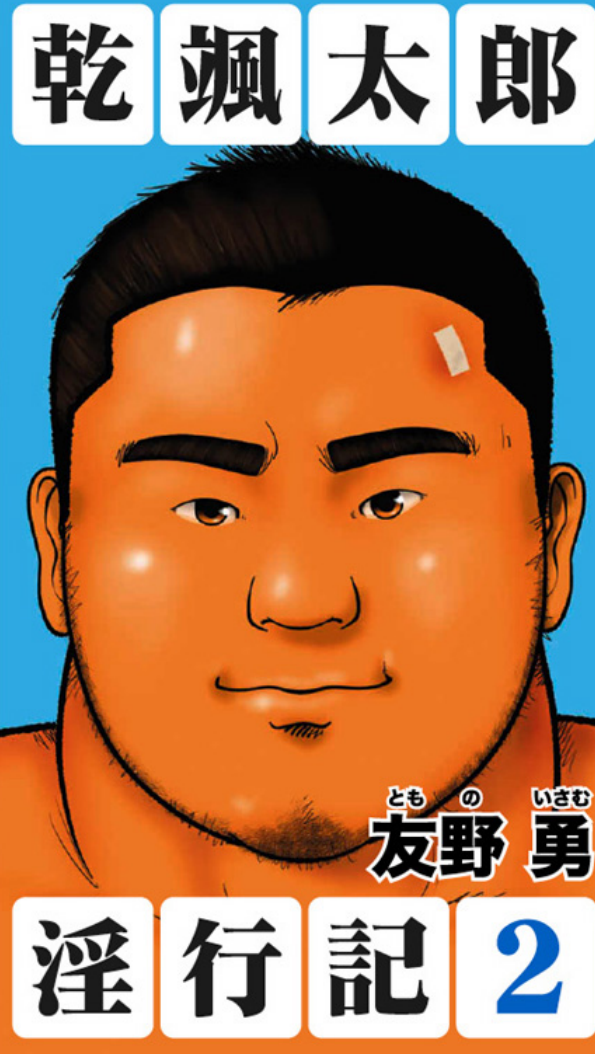
本編 315 ページ

全項 394 ページ (他作品の紹介含む)

ラグビーで鍛えたその身体が羞恥  
の快楽に溺れていく……。

暗闇の淫猥な世界の果てに見た男  
同士の恋愛は本当に存在するのだ  
ろうか。颯太郎の淫行の旅が続く。  
乾颯太郎淫行記のシリーズ第2章  
です。

各章は新たなお話と登場人物に  
よって完結していますので『乾颯太  
郎淫行記1』を読んでいない方も  
お楽しみ頂けます。



読む本  
じっくり





ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 官能中編小説

挿絵なし（巻頭イラスト）

約 52,000 文字

本編 179 ページ

全項 272 ページ（他作品の紹介含む）

不知火

友野  
勇



Goliath Box

強く男らしい男を求める裕太。極道の世界を生きる伊沢。二人は強烈にぶつかり合い、交わり合いながらそれぞれの道を見いだしていく。

読む本  
じっくり





ゴリアテボックス  
友野勇の小説

# 官能中編小説

挿絵なし

約 57,000 文字

PC 用 100 ページ

スマホ用 282 ページ

自販機の設置や管理をしている会社で高橋良二は営業部の主任を務めている。部下の野田とは長年同じ業務を受け持つ先輩後輩の仲で、野田は良二を仕事の面でも人としても尊敬しているのだが、年上の大柄な男に引きつけられてしまう性癖を持った良二は、そんな年下の野田にも最近男として不思議な魅力を感じ始めていた。

ある日良二は自宅近くの公園で知らぬ男たちと淫猥な行為におよび、亡き父の影を引きずっていることと関係があるのだという思いに戸惑うのだった。



## あさなぎ

とも の いさむ  
友野 勇

読む本  
じっくり







ゴリアテボックス  
タッピングゲーム

## 簡単着せ替えゲーム

PDF ビューアで遊ぶ、着せ替えゲーム！

30 パターン以上のコスチュームとゲームクリアでおまけ画像あり！スマホやタブレットでもプレイできます！ガチムチなわがままケンタの満足度100%をめざせ！基本的には1ポーズの差分画像で遊ぶゲームです。複数のシチュエーション（シーン）があるわけではないのでご注意ください。ゲームで使用しているリンクボタンは Adobe Reader 以外のアプリケーションでも動作するものがありますが保証の限りではありません。また、OS や Adobe Reader のバージョンによっては、動作しない場合があります。購入を検討される前に必ず体験版で動作確認するようお願いします。



# わがまま

# KENTA の

# 着せ替え ゲーム

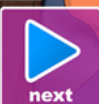
グレーのパーカー

ブルーのブルゾン

1 %



page top



next

こういう感じもいいよね

10 %



page top



next

20 %







**GoliathBox**

体験版